

## 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）【教育学部】

教育学部は、学校等の教員に求められる専門力と実践力を育成するカリキュラムを提供するという観点から、教育課程の編成・実施方針をつぎのように定める。

### 1. 教育課程の編成・実施等

教育への知的好奇心と強い責任感を育むとともに、自律的な学習とチームでの学び合い・教え合いの習慣を確立し、教育者としての専門職的発達の基礎を築き成長していくため、各課程・専攻において、以下の学習を実施する。

#### 【学校教育教員養成課程・初等中等教育専攻】

##### ・見通す力：

学生に諸学問の基礎を修める機会を提供することで、教育が果たすべき社会的使命とは何か、その使命を果たすためにどのような教育実践が求められるのか、多角的に検討できる力を養う。（教養教育科目）

##### ・解決していく力：

学生に地域社会の教育実践の現実に触れる機会を提供することで学生の教育問題への想像力や感受性を養い、学生が一人の教育者として、そして教育の実践共同体の一員として教育問題の解決に挑戦できる力を養う。（教養教育科目・学部共通科目）

##### ・働きかける力：

学生に、教育の目的と制度、内容、方法、児童・生徒理解といった教育実践に関する知識・技能等を深く理解させることにより、自律的に児童・生徒に働きかけていくための専門力を養う。（自己形成科目群：基礎科目・教職科目）

##### ・反応を読みとり働きかけ返す力：

学生に、学校現場を経験させ、自らの働きかけに対する児童・生徒の反応を的確に読みとり、それに応じた適切な働きかけを考え実践し、児童・生徒等の発達を促すことができるような実践力を養う。（学校臨床科目群：教育実習関連科目）

##### ・自律的発展力：

学生に、学校現場体験の省察により、自らの専門力・実践力両面における到達点と課題を明らかにさせ、さらなる知識・技能等の向上を図り、よりよい教員を目指して成長していく力を養う。（教員発展科目群：発展科目・サブコース科目）

- ・小学校コース、中学校コースから成り立ち、小・中学校等の教員として、確かな「専門力」と「実践力」を兼ね備えた教員を養成する。また「地域協働型教員養成プログラム」により、地域の教育課題に対応できる教員の養成を行うとともに、コースの枠を超えた相互連携教育により小中一貫教育へ対応できる能力を養う。（学校臨床科目群：教育実習関連科目 教員発展科目群：発展科目・サブコース科目）

#### 【学校教育教員養成課程・特別支援教育専攻】

##### ・見通す力：

学生に諸学問の基礎を修める機会を提供することで、教育が果たすべき社会的使命とは何か、その使命を果たすためにどのような教育実践が求められるのか、多角的に検討できる力を養う。（教養教育科目）

##### ・解決していく力：

学生に地域社会の教育実践の現実に触れる機会を提供することで学生の教育問題への想像力や感受性を養い、学生が一人の教育者として、そして教育の実践共同体の一員として教育問題の解決に挑戦できる力を養う。（教養教育科目・学部共通科目）

##### ・働きかける力：

学生に、教育の目的と制度、内容、方法、児童・生徒理解といった教育実践に関する知識・技能等を深く理解させることにより、自律的に児童・生徒に働きかけていくための専門力を養う。（自己形成科目群：基礎科目・専攻基礎科目・教職科目）

- ・反応を読みとり働きかけ返す力：  
学生に、学校現場を経験させ、自らの働きかけに対する児童・生徒の反応を的確に読みとり、それに応じた適切な働きかけを考え実践し、児童・生徒等の発達を促すことができるような実践力を養う。  
(学校臨床科目群：教育実習関連科目)
- ・自律的発展力：  
学生に、学校現場体験の省察により、自らの専門力・実践力両面における到達点と課題を明らかにさせ、さらなる知識・技能等の向上を図り、よりよい教員を目指して成長していく力を養う。(教員発展科目群：専攻発展科目)
- ・特別支援教育に関する深い知識と技術を有し、特別支援学校や特別支援学級、通常学級など特別支援教育の現場で活躍することができる能力を養う。(専攻発展科目)

### 【養護教諭養成課程】

- ・見通す力：  
学生に諸学問の基礎を修める機会を提供することで、教育が果たすべき社会的使命とは何か、その使命を果たすためにどのような教育実践が求められるのか、多角的に検討できる力を養う。(教養教育科目)
- ・解決していく力：  
学生に地域社会の教育実践の現実に触れる機会を提供することで学生の教育問題への想像力や感受性を養い、学生が一人の教育者として、そして教育の実践共同体の一員として教育問題の解決に挑戦できる力を養う。(教養教育科目・学部共通科目)
- ・働きかける力：  
学生に、教育の目的と制度、内容、方法、児童・生徒理解といった教育実践に関する知識・技能等を深く理解させることにより、自律的に児童・生徒に働きかけていくための専門力を養う。(自己形成科目群：課程基礎科目・教職科目)
- ・反応を読みとり働きかけ返す力：  
学生に、学校現場を経験させ、自らの働きかけに対する児童・生徒の反応を的確に読みとり、それに応じた適切な働きかけを考え実践し、児童・生徒等の発達を促すことができるような実践力を養う。  
(学校臨床科目群：教育実習関連科目)
- ・自律的発展力：  
学生に、学校現場体験の省察により、自らの専門力・実践力両面における到達点と課題を明らかにさせ、さらなる知識・技能等の向上を図り、よりよい教員を目指して成長していく力を養う。(教員発展科目群：課程発展科目)
- ・子どもたちの心身の健康を守り育てていくため、必要な資質や能力を身に付け、深めていける能力を養う。(教員発展科目群：課程発展科目)
- ・児童・生徒、教職員他、さまざまな人々とコミュニケーションをとりながら、養護実践学的・保健医学的思考に基づき、子ども自らが心身の健康問題を解決していけるように促せる力を養う。(学校臨床科目群：教育実習関連科目)

## 2. 教育・学習方法

- (1) 授業科目のナンバリングを定めて年次配置を厳密に行うとともにCAP制を実施することにより、卒業までの履修期間の無理なくかつ効果的な学習を促す。
- (2) 各コースの履修体系図によりディプロマ・ポリシーと各授業科目の関係を明示して効果的な学習を促し、見通す力と解決する力を涵養する教育を行う。
- (3) 自ら課題を発見し、その解決に向けて探究を進め、成果を発表するための実践的な能力を身に付けることのできる、学生主体の能動的な授業を積極的に取り入れる。

## 3. 学習成果の評価

- (1) 学習成果を厳格に評価するため、カリキュラム・ポリシーに沿って策定された到達目標の到達状況が確認できる明確な成績評価基準を策定し、GPAを用いて教育課程における学習到達度を客観的に評価する。

(2) 各科目の学習成果は、定期試験、レポート、授業中の小テストや発表などの平常点で評価することとし、その評価方法については、授業内容の詳細と合わせてシラバスにおいて科目ごとに明示する。